

[一般社団法人 エリアマネジメント推進協会]

【金町例会】

6月定例会 (第66回) 6月5日 (水) 正午

金町南口駅前ヴィナシスターワー 2F「二葉会館」葛飾区金町 6-2-1
(03-3607-5511)

【講演】

【我が国の今後の労働力確保策について】

被災地初め国内公共事業の担い手としての労働力
海外で活躍する日系企業の現地労働力の確保策について

*** ベトナム社会主義共和国との協調について ***

グエンザリエム (Mr)、ベトナム大使館の参事官、労働部長

ファンチェンホアン (Mr)、二等書記官、

グエンティンビン (Mr)、Hoang Long 送り出し機関、副社長

グエンミンハン (Mrs)、Hoang Long 送り出し機関の東京駐在員

岩手県大槌町第三セクター・大槌地域振興株式会社・社長松橋雅平氏

【報告】

一般社団法人エリアマネジメント推進協会

*** 「東日本大震災復興に対する提案」 ***

【増税なき復興支援】 と入力。

*** 「靖国問題についての提言」 ***

【歴史の真実靖国問題】 と入力。

ヤフー・グーグル共に上位掲載中

協会ホームページ <http://cq-snet.com/area>

【次回】 7月17日 (水) 正午

【巨大地震の予知に挑む】

地震予知は可能か否か？

巨大地震の予知を実践している事例報告と今後の提案

環境防災研究会・代表 斉藤好晴氏

【金町例会・講演記録】

*平成19年4月定例会(1) 4月18日(水) 正午

「都立水元公園の自然とその魅力について」

みずもと自然観察クラブ 五十嵐吉夫氏

「今後の金町地区の公共駐車場のあり方について」

駐車場総合研究所 大嶋 翼氏

*5月定例会(2) 5月16日(水) 正午

「国道6号新宿拡幅事業について」

国土交通省関東地方整備局首都国道事務所調査設計課長

岡野 稔氏

「金町地区周辺の商業環境について」

(株)イトーヨーカ堂店舗開発室総括マネージャー

島村良一氏

*6月定例会(3) 6月13日(水) 正午

「金町地区生活道路バリアフリー化の実践事例についての報告」

葛飾区立東金町小学校ゲストティーチャー

大内明夫氏

「優しい街づくりへの体験的提案」

葛飾区教育委員会庶務係 天羽勝彦氏

「国道 外郭環状線の建設状況とその影響について」

国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所 所長

吉木 務氏

「都道 岩槻街道改修計画について」

東京都建設局第五建設事務所 所長

古川俊明氏

*7月定例会(4) 7月11日(水) 正午

「金町地区の街づくりについて都市計画から見た展望と可能性」

三井不動産(株)開発企画部特任参与

元東京都都市計画局長

長 裕二氏

「新金貨物線沿線宅地化計画について」

(財)区画整理促進機構 専門家

前田利郎

平成24年

***2月定例会 (第51回) 2月15日(水)**

【講演】

【レーダー・ライトかぐや姫の実用事例の可能性について】

(株)CQ-Sネット代表取締役 齋藤光正氏

(電気通信大学電気通信学部工学科を卒業の後、ソニー株式会社に入社 TV事業部、技術開発部に配属の後、セキュリティ機器事業部、映像技術研究所の各係長を経て、ソフトウェア技術部統括課長、ディスプレイ開発部長、STリモコンセンター技術戦略部長、技術企画部リモコンPJ室長を最後に退職。我が国の、ICT事業、とりわけ映像とセキュリティ部門の専門家として世界をリードし続けるソニー株式会社の技術部門の中核でご活躍。)

【提言】

「東日本大震災・復興計画に対する提言」

「放射性物質除染事業・報告その1(都立水元公園の放射線汚染について)」

一般社団法人エリアマネジメント推進協会

***3月定例会 (52回) 3月14日(火)**

【講演】

【除染事業への提言その1(放射性物質の軽減策)】

「ワームゴールドソリューションによる環境改善」

—微生物の力で豊かな土壌を作る—

株式会社ワームゴールドインターナショナル

薬学博士 穂積豊治氏

元愛知県企業庁中部国際空港建設担当課長 奥谷鉄太郎氏

*健康な土壌の中には、微生物どうしの拮抗作用があります。微生物が産出する代謝産物・抗生物質によって、他の微生物の活動を阻害し、殺菌する作用があります。WGSには、多くの種類の有益な微生物や細菌・糸状菌・放射菌が含まれ、その作用により植物及び土壌病害を抑制する効果が認められています。ワームゴールドソリューションは、有益な微生物を最も活性化した高濃度の培養液であるため、有害物質や環境汚染により、問題が生じた土壌を生物分解処理・修復し、改善に効果を発揮します。

***4月定例会 (53回) 4月17日(火)**

【講演】

【孤独死ゼロ作戦・独居高齢者対策の実用化例】

「いきがいDS」活用術 株式会社 リーチ・コム

執行役員 山口弘志氏・事業企画担当 安部郁子氏

***5月定例会 (54回) 5月16日(水)**

【講演】

【ホタテ貝焼成カルシウムが汚染された環境を救う】

自然素材が汚染された土壌・水質を浄化して、異臭・除菌・

除染活動にまで活用！！

日本シェルテック株式会社

代表取締役 小川和廣氏

執行役員 篠崎泰三氏

東日本大震災の被災地である岩手県大槌町初め被災地の瓦礫から発生する汚臭や児童の衛生状態を改善する為に私財をなげうって「シェルファイン溶液」を提供。

【提言】

【放射能に汚染された福島県・下水道汚泥の解決策提言①】

薬学博士 穂積豊治氏

有) いそ野 代表取締役 磯野裕氏

*6月定例会 (55回) 6月13日 (水)

【講演】

【高濃度放射能と極悪臭気にまみれた福島県・下水道汚泥の解決策②】

(カタール・フレンド基金) への提案

一般社団法人エリアマネジメント推進協会

【新金貨物線の考察と国道6号線新宿拡幅事業への緊急提言】

出席者全員参加の提言

*7月定例会 (56回) 7月11日 (水)

【講演】

【困窮を極める・地方自治体の財政状況を救う・地方債の活用術】

「除染促進への・過熱水蒸気式ガス化・炭化装置活用のご提言」

=除洗促進と震災復興・地域再生を併せて=

建て替えが迫られている各地清掃工場の今後の解決策への一提言

地方債活用術についての提言

工学博士 坂東 弘 氏

*8月定例会 (57回) 8月8日 (水)

【講演】

【河川・湖沼・海の放射線測定と水質管理のご提言】

(株)東邦電探 代表取締役社長 伊藤祐士氏

マーケティングディレクター 森多美雄氏

*9月定例会 (58回) 9月19日 (水)

【講演】

【ミャンマー連邦共和国・ハンサワディ国際空港建設事業について】

民主化されたミャンマー連邦共和国の国づくりに対して、日本国としての援助事業に関するエリマネ協会としての関与についての報告

【岩手県大槌町・東日本大震災罹災からの復興への足跡】

(6月定例会 第66回)

町長さんはじめ町の職員40人・町の人口の1割が津波により尊い命を奪われた町・大槌町
しっかりと復興への努力を続けておられる大槌町へのエリマネからの提言
・現地からの報告と今後展開について。

【新金貨物線の旅客化への努力・国道6号線陳情】

*10月定例会(59回) 10月10日(水) 正午

【講演】

【岩手県大槌町への提言】

【カタルフレンド基金第二次公募への対応について】

【新金貨物線の旅客化への努力・国道6号線陳情】

の中間報告

一般社団法人エリマネジメント推進協会

*11月定例会(第60回) 11月14日(水) 正午

【講演】

【オン・デマンドバスの提案・実践事例】

【高齢者の孤立を救う・交通手段の切り札・閉じこもりからの開放】

コガソフトウェア株式会社

代表取締役 古賀詳二氏

(第一種伝送交換主任技術者)

*12月定例会(第61回) 12月12日(水) 正午

【講演】

【放射線測定のお話し】

水中測定・農耕地の測定・緑地の測定

株式会社 テクノエーピー

代表取締役 荒井孝司氏

平成25年

*2月定例会(第62回) 2月13日(水) 正午

【講演】

【バイタルサインの応用】

京阪奈学園都市からの報告

ーICTを活用したヘルスマネジメントシステムの開発ー

奈良女子大学准教授

梅田智広

*3月定例会(第63回) 3月13日(水) 正午

【講演】

【ベトナム訪問記】

被災地の労働力確保の為に渡越

一般社団法人 エリアマネジメント推進協会

代表理事 出口晴三

* 4月定例会 (第64回) 4月9日 (火) 正午

【講演】

【東日本大震災発生後二年を経過して】

・・・現状報告と問題点及び復興促進への提言・・・

・・・被災地からの報告と提言・・・

*一般社団法人エリアマネジメント推進協会

としての携わりについての報告*

*岩手県大槌町からの報告と提言

*放射能被害に対する除染の現状と今後への提言

一般社団法人エリアマネジメント推進協会

* 5月定例会 (第65回) 5月8日 (水) 正午

【講演】

【樹木の電位測定と地震予知の関係】

東京女子大学・名誉教授・理学博士

鳥山英雄先生

環境防災研究会 代表

斉藤好晴氏

【大地に根を下ろしたネムノキの生体電位測定研究を展開し 30年に及びその結論は(樹木の生体電位測定によって、大地震の先行過程を反映する異状電位を捉える事が出来る。今後、測位点を全国的に増やし、樹木の電気生理学的研究を推進し、電気工学者・地球物理学者・地震学者等と協力し、学際的研究として発展させるならば、災害を伴うような大地震の予測は可能になるに相違ない)】

平成 25 年 開催予定表 1月・お休み

次回 7月 17日 (水)

8月 7日 (水)・9月 11日 (水)・10月 9日 (水)・11月 13日 (水)・

12月 10日 (火)